

田富小だより

令和4年度
第11号
2月24日
田富小学校



復活、粘土節！！

例年、運動会の折には、粘土節保存会の皆様に参加していただきながら、歌や尺八の生演奏の中、正調粘土節を見ていただいていたのですが、感染症が拡大した影響で、ここ3年間は正調粘土節を見ることはできませんでした。大変残念なことです。ところが、令和4年、運動会とは別のところで、粘土節が以前のように復活しつつあるのです。

さて、そもそも粘土節とはなんでしょう？保護者の皆様、地域の皆様はすでにご存じかと思いますが、中央市のHPにも、次のように説明されています。『粘土節は、山梨県釜無川流域の堤防工事に従事した男女の間に歌い継がれた作業歌です。粘土節の伝わる旧田富町は、甲府盆地の最南端、最低地部に位置し、釜無川と笛吹川という二大河川の水がロート状に集められ合流するため、度々氾濫を起こしていました。

特に明治11年からは毎年のように洪水が起きたため、最も破損個所が多かった釜無川堤防の改修工事が内務省直轄工事として明治20年から施行されることになりました。

7年の歳月をかけて現在の堤防が完成しましたが、杵と平打ちで堤の粘土を打ち固める単調な作業を繰り返しているうちに誰彼の区別なく田の草取り歌や盆歌が歌われ、それが杵と調子が合うようになり粘土節になったといわれます。

その工事の中で、歌声も杵を打ち下ろす姿もひとときわ美しかったのが、旧小井川村山之神の「お高やん」でした。お高やんは、明治3年生まれで、当時18歳の娘盛り、そのあまい艶のある美声は、杵や平打ちの粘土搗き作業とよく調子が合い、作業は驚くほどはかどったといえます。次第に当のお高やんが歌詞にも登場するようになり、現在の粘土節に至ったようです。』

粘土節を踊り、地域教材として大きく取り上げてきた本校でも、かつては、「粘土節クラブ」もあり、地域のことを知り、地域の伝統を後世に伝えるなどに力を注いできた過去もあります。ところが、ここ3年間、運動

会における「粘土節」は縮小され、正調粘土節が披露されることはありませんでした。令和4年度、3年生は、運動会で「粘土節」にふれ、大きく心を動かされ、運動会後も総合的な学習の時間を使い、粘土節保存会の方々の指導を受けながら、粘土節についての学習を深めてきました。正調粘土節を舞う子ども達、お囃子を鍵盤ハーモニカやリコーダーで演奏する子ども達、歌を歌う子ども達、お高さんや道具、保存会につい



て調べる子ども達、全国版粘土節を極めて踊る子ども達など、それぞれの子もが、自らのテーマをさだめ、それに向かって活動し続けています。そして、その集大成として保護者の方々にすべての研究成果を披露することができました。2月16日、最後の授業参観でのことです。そして、子ども達の思いはまだ続き、知り得た郷土の文化を伝承しようということ、2年生にも今後、発表する



予定もあります。伝承というのは校内の下級生についてだけという意識ではなく、このことを知り得た自分たちが大人になっても次の世代へ伝えていくべきものだという気持ちがあるようです。田富小学校の児童が粘土節に関わり、次の世代へと伝える橋渡しになれば素敵だなあと感じています。何回も学校に足を運んでいただき、指導をしていただいた粘土節保存会の皆様、本当にありがとうございました。

雪に覆われて

2月10日(金)、山梨県内は朝から雪となりました。午前中に出ていた大雪注意報は、大雪警報に変わり、10センチ前後の積雪と予想していた



雪は、20センチを超える積雪となりました。県内のほとんどの小中学校がそうでしたが、中央市内の8校も午後の授業をカットして早く帰る措置をとりました。ほとんどの教師が集団下校に付き添い、児童の安全を確保しました。私も布施5区方面に付き添ったのですが、かなり雪が深く、自動車もゆっくりとようやく進んでいけるような状態でした。送っていく帰り道に保護者の方と一緒にりましたが、「子どもは、明日は雪が降ることがわかっていただけから、タベから、ハイテンションでこまりました。」とお母さん。雪が激しく降り始めた10時30分、本校では丁度休み時間になるのですが、

堰を切ったように子ども達がでてきました(この時、3年生以上は児童総会中であったので、1、2年生が主でしたが…)。いつの時代も子ども達は雪が大好き。冷たくても、びしょびしょに濡れてしまっても、それでも雪が好き。見ているこっちが、「風邪ひかないかなあ」と心配になります。休み時間は児童総会のため雪遊びができなかった3年生以上の子ども達は、どうしたか?勿論、終わってから雪遊びに出ました。雪だるまをつくる子、夢中で雪合戦をする子、雪を食べる?子…と様々でした。今回の雪は、2014年に114cmを記録した大雪以来の積雪だったようです。一説には、温暖化の影響で、俗にいう「ドカ雪」(年平均の降雪量は減少しているが、一日の平均降雪量は増加しているという統計あり)が降るといわれることもあります。屋内でオンラインゲームに熱中する子ども達の姿が普通になった昨今では、こうした自然と触れ合える機会があることは誠に喜ばしいことですが、地球環境の変化によって、大雪が頻繁に降ることが無いようにと祈るばかりです。



授業参観ありがとうございました

新型コロナウイルスに対するスタンスが変化を見せています。学校現場でも4月からはマスクの着用についても、変更していくことになっています(保護者の皆様には、詳細はおってご連絡いたします)。3年が経過して、ようやく以前のような教育活動に戻りつつあります。昨年は、感染症拡大防止のため、授業参観は実施しませんでした。しかしながら、子ども達の学校での様子を知っていただきたいということで、短い時間ではありますが、教室が密にならないようにして実施しました。4年生の「1/2 成人式」をはじめ、1、2年生など1年間の学習の成果を発表する様子を観ていただく機会が多くありました。保護者の皆さんや担任が子どもの成長を見、目頭を熱くする場面もありました。やっぱり、授業参観していただくのは大切であると再確認しました。令和5年度こそ、感染症の心配なく、子ども達の様々な様子を観ていただく機会を多く設定できるように思っています。今後ともよろしくお願いします。